

## 設備の省エネをスピーディーに、そして安全に

## Fluke ii900 / ii910

## 産業用超音波カメラ

## Fluke ii910

エアリーク  
部分放電検知

## Fluke ii900

エアリーク検知

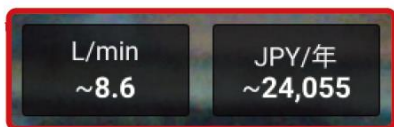


製品仕様	Fluke ii910	Fluke ii900
周波数レンジ	2kHz~100kHz 自動・手動レンジ	2kHz~52kHz 自動・手動レンジ
音響測定レンジ	12.1~114.6 dB SPL, ±1 dB SPL 2 kHz 4.4~101.2 dB SPL, ±2 dB SPL 19 kHz 12.8~119.2 dB SPL, ±1 dB SPL 35 kHz 19.8~116.1 dB SPL, ±3 dB SPL 52 kHz 41.4~129.0 dB SPL, ±1 dB SPL 80 kHz 54.4~135.5 dB SPL, ±1 dB SPL 100 kHz	15.4~115.2 dB SPL, ±1 dB SPL 2 kHz 5.6~102.5 dB SPL, ±2 dB SPL 19 kHz 28.4~131.1 dB SPL, ±1 dB SPL 35 kHz 41.8~133.1 dB SPL, ±3 dB SPL 52 kHz
分析モード	PDQモード、LeakQモード	LeakQモード
センサー	64個	
視野	63° ±5°	
フレームレート	25FPS	
ディスプレイ	7インチ 1280×800画素 LCDタッチスクリーン(バックライト付き)、太陽光下でも判読可能	
保存形式	画像:JPGまたはPNG 動画:MP4 最大5分 LeakQ+PDQ:AS2(音響データ他を含む固有ファイル形式)	
保存メディア	内蔵メモリー20G、画像>5000ファイルおよび動画>999ファイルを保存可能	
データ転送	USB-Cケーブルを用いてPC接続	
バッテリー(稼働時間)	充電可能なリチウム・イオン電池、Fluke BP291(6時間)	
動作温度	-10℃~40℃	-10℃~45℃
保存温度	-20~70℃(バッテリーを外した状態)	
寸法/重量	18.6cm×32.2cm×6.8cm / 2.3kg (バッテリー含)	
保証期間	2年	

## エアリークの可視化とリーク量の推定

- 超音波カメラによって迅速かつ容易にエアリークを発見できます。それがどの程度のリーク量なのか推定することができれば、省エネ効果の試算や不具合の重症度、修繕の優先度を判断する材料になります。

リークを発見したその場でリーク量の推定値が確認できます!



推定リーク量と年間コストの表示

## CO2排出量の推定

- 圧縮システムのリークによる浪費した電力を、発電時のCO2排出量に換算することで、「そのリーク箇所を修繕することによって削減できる可能性のあるCO2排出量」を推定することができます。

CO2排出量の推定には、CO2排出係数の入力が必要になります。

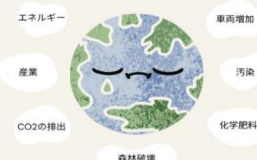
CO2 排出量  
CO2排出係数  手動で入力  
キロワット時あたり (kg) でのCO2排出量

CO2排出係数は電力会社が情報を公開しており、ご契約の会社ごとに、また年度によっても異なる場合があります。

LeakQレポート・ジェネレーターでは、CO2排出係数の「手動で入力」を選択してから、発電量キロワット時あたりのCO2排出量を(kg)の単位で入力します。

推定リーク率 16.6 l/min  
推定 kWh 1540.4 kWh  
推定コスト 58537 円/年  
推定 CO2 排出量 764.1 kg/年

作成したLeakQレポートに、推定CO2排出量が表示されます。

CO2二酸化炭素  
排出量の推定とは

## コスト節減

